



よく使う日本語

**合わせていくつ（何点）？ あといくつ（何点）？
どちらがいくつ多い（少ない）？【数】**

基本的な流れ

指導のポイント

1 的当てゲームを楽しむ。
(聞く・話す活動)



100円均一ショップで売られている的当てゲーム

○遊ぶときは安全に気を付ける。

**T: 「先生は、10点と20点と70点でした。
合わせて何点ですか。」**

S: 「100点です。」

**T: 「〇〇さんは、30点と40点ですね。
あと何点で先生より多くなりますか？」**

☞ その他のゲームでも
特別支援の教材や手作りのゲームでよいです。
何十や何百の計算ができる得点のあるゲームで
あれば同様の活動ができます。勝ったり、負けたり
して、ルールを守る態度も育てましょう。

2 玉入れゲームを楽しむ。
(聞く・話す活動)



運動会の玉入れが使えない場合は、100円均一ショップ等で売られているカラーボールでもよい。

○繰り上がり足し算や繰り下がり引き算の練習である。

T: 「いくつ入ったか数えましょう。」

S: 「1、2、3…、15個です。」

T: 「2回目はいくつ入りましたか？」

S: 「1、2、3…、17個です。」

T: 「2回合わせていくつですか？」

S: 「 $15+17=32$ 32個です。」

☞ 体育や運動会で行う種目だとその練習になります。
得点がつけられるものであれば、休み時間に
学級の友達がやっている遊びでもよいでしょう。

3 筆算のやり方を確認する。
(書く活動)

	1		2	10
	1	5	3	2
+	1	7	-	2 5
	3	2		7

繰り上がりの数字をどこに書くかなど、在籍学級と同じ筆算のやり方にする。

○実態に応じて問題を変える。数ブロックなど半具体物を操作しながらやるとよい。

T: 「玉入れの数を筆算で答えましょう。」

**T: 「先生の玉入れの数と、どちらがいくつ
多いか筆算で答えましょう。」**

S: 「私が32個、先生が25個です。
 $32-25=7$ 私が7個多いです。」

※高学年以上は、
・かけ算やわり算の筆算で1回あたりの平均得点、
何%入ったか、先生の数の何倍かなどを求める。
・母国の筆算のやり方が身に付いている場合は、その
やり方を理解し、認める。日本のやり方も教えて、
共通点や相違点を考えさせる。